

科目名	基礎化学（卒業必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	武井 利之				
内容および計画	食品を構成する成分や健康への影響を理解するうえで必要となる化学の基礎について学ぶ。高校で化学を履修していない学生にも理解しやすいように、物質の成り立ちからはじめ、身近な現象や料理を例示し、また基礎実験と関連づけて説明する。				
1	原子と分子について（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
2	原子量と分子量1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
3	原子量と分子量2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
4	物質の溶解（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
5	酸と塩基1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
6	酸と塩基2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
7	pHと中和反応1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
8	pHと中和反応2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
9	酸化と還元1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
10	酸化と還元2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
11	物質の三態（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
12	ミネラル（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
13	浸透圧、コロイド1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
14	浸透圧、コロイド2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
15	まとめ（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『食を中心とした化学第5版』	北原重登ほか	東京化学社	9784808230562	2021
参考書					
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	筆記試験				70
	授業で実施する課題				30
学習到達目標	1、学生が物質の基本粒子及び化学結合について理解し説明できる。 2、学生が物質の溶解及び溶液やコロイドの性質について理解し説明できる。 3、学生が酸と塩基及び酸化還元反応について理解し説明できる。 4、学生が物質の状態変化について説明できる。 5、学生が典型元素及び食品に含まれる無機成分について理解し説明できる。				

先修条件	
実務経験	
その他	高校までに使用した化学の教科書を復習してから授業に臨んでください。